

日時

2017年3月4日(土) 13:00~17:40
(開場 12:30)

場所

ピアザ淡海 ピアザホール
滋賀県大津市におの浜 1-1-20

入場無料

申込不要

一般歓迎

内容

第1部

■主催者挨拶
龍谷大学里山学研究センター センター長 牛尾 洋也氏

■基調講演
「なぜ愛知川流域を研究するのか」
田中 滋氏 (龍谷大学社会学部教授)

「東近江市の流域政策」
山口 美知子氏 (東近江市市民環境部森と水政策課課長補佐)

第2部

■ポスターセッション
「里山・里湖にかかわる多様な研究・取組みのポスター展示」

第3部

■関連講演
「小椋谷と木地屋」
須藤 護氏 (龍谷大学名誉教授・センター研究フェロー)

「東近江市 里山林整備の現場から」
松尾 扶美氏 (東近江市永源寺森林組合技術職員)

「東近江の森林資源 ～特徴と利用可能性」
山下 直子氏 (国立研究開発法人森林総合研究所主任研究員)

第4部

■パネルディスカッション
「森・川・湖の統合的な流域政策へ」

Panelists (敬称略)

- ① 山口美知子 (東近江市市民環境部森と水政策課課長補佐)
- ② 山下 直子 (国立研究開発法人森林総合研究所主任研究員)
- ③ 松尾 扶美 (東近江市永源寺森林組合技術職員)
- ④ 須藤 護 (龍谷大学名誉教授・センター研究フェロー)
- ⑤ 田中 滋 (龍谷大学社会学部教授)
- ⑥ 林 珠乃 (龍谷大学理工学部実験助手)

コーディネーター

宮浦 富保 (龍谷大学理工学部教授)

■閉会挨拶

龍谷大学里山学研究センター 研究員 丸山 徳次氏

お問い合わせ

龍谷大学里山学研究センター
〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
TEL: 075-645-2154
<http://satoyama.kenkyu.ryukoku.ac.jp/>

主催：龍谷大学里山学研究センター 後援：滋賀県・東近江市

流域のくらしと奥山・里山

2015年度～2019年度 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
龍谷大学里山学研究センター シンポジウム

愛知川から考える



流域のくらしと奥山・里山

～愛知川から考える～



愛知川上流域は、木地師の発祥の地として奥山の森林資源利用の伝統をもっており、中下流域では現在、里山や河辺林の保全活動が新たに展開されています。愛知川はその流域の大半が東近江市という一つの自治体に含まれています。だからこそ、愛知川を舞台として森・川・湖の統一的な流域政策を展望することができます。

本シンポジウムでは、愛知川流域のくらしと奥山・里山の問題に関わる方々にご参加いただき、森・川・湖の統一的な流域政策の可能性を共に考えていきます。

プログラム

- 12:30 開 場
- 13:00～14:30 第一部
 - ・主催者挨拶
 - ・基調講演
 - 田中 滋氏「なぜ愛知川流域を研究するのか」
 - 山口 美知子氏「東近江市の流域政策」
- 14:30～15:00 第二部
 - ・ポスターセッション
 - 「里山・里湖にかかわる多様な研究・取組みのポスター展示」
- 15:00～16:30 第三部
 - ・関連講演
 - 須藤 護氏「小椋谷と木地屋」
 - 松尾 扶美氏「東近江市 里山林整備の現場から」
 - 山下 直子氏「東近江市の森林資源
～ 特徴と利用可能性」
- 16:30～17:40 第四部
 - ・パネルディスカッション
 - 「森・川・湖の統一的な流域政策へ」
 - ・閉会挨拶

里山学研究センターとは

龍谷大学里山学研究センターは、2004年度に文部科学省オープンリサーチセンター整備事業として採択されてから、人と自然との共生をめざした「里山学」を掲げ、里山の保全再生に向けたプロジェクト研究に取り組んできました。

2015年度文部科学省私立大学戦略的基盤形成支援事業に採択されたことを契機に琵琶湖保全再生に「Satoyamaモデル」を活かす政策を模索しています。新しいプロジェクトでは、重点研究対象の一つとして愛知川流域を選びました。



【会場アクセス】

- ・京阪電車 石場駅より徒歩5分
- ※JRでお越しの場合には、膳所駅にて京阪電車への乗り換えが可能です。
- ・JR大津駅より京阪近江バス なぎさ公園線 「ピアザ淡海」下車(約8分)
- ・JR大津駅よりタクシー(約5分)

お問い合わせ

龍谷大学里山学研究センター

<http://satoyama.kenkyu.ryukoku.ac.jp/>

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
TEL: 075-645-2154